

研修名	<b>専門課程 災害査定指導者 【集合】</b> (平成2～16年度:「防災・災害査定」、平成17～23年度:「災害査定」)					
目的・重点事項	<p>地方整備局における災害査定の指導者を育成するため、災害復旧に必要な高度の総合知識の修得及び災害査定を行う能力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 防災行政の動向や公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法関係法規、災害の定義、採択要件など災害復旧制度の最新動向の把握</p> <p>② 河川・海岸・砂防・下水道、道路・橋梁の災害の復旧について、高度な判断を要する事例を中心とした工法の修得、失格、欠格、工法変更事例等の確認</p> <p>③ 難易度の高い事例を机上による演習により、迅速で的確な災害査定方法の修得</p>					
対象者	<p>国土交通省又は内閣府沖縄総合事務局の技術系職員で、災害査定に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 地方整備局、事務所の本省併任の災害査定官もしくは予定されている者で、災害査定の経験のある者</p> <p>② 地方整備局、事務所の災害査定官もしくは予定されている者で、災害査定の経験のある者</p>					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	19	1				20
研修期間	23.0時間 4日間			令和5年 5月15日(月)～ 令和5年 5月18日(木)		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(12.5)</p> <p>① 災害復旧の課題と留意点、TEC-FORCEの役割等 (2.0)</p> <p>② 河川・海岸・砂防・下水道災害、道路・橋梁災害、失格・欠格・工法変更、未満災・応急仮工事事例等 (7.5)</p> <p>③ 災害指導者向けQA、小テスト等 (3.0)</p> <p>2. 課題研究(8.5) 班別討議、模擬査定(事例演習)、全体討議</p> <p>3. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 23.0</p> <p>※本研修は、災害査定に関する一般的事項は修得済みであることを前提としたカリキュラム編成としている。</p>					
前年度からの 主な変更点	定員減(25人→20人)					
担当	建設部 建設技術研修分析官 (TEL:042-321-0645)					
備考	テキスト代(予定)29,000円					